

# 持続可能な行財政運営

# 持続可能な行財政運営



## 目指す姿

- ◎人と人がつながり、健康でいきいきと過ごせるまち
- ◎多様な魅力を生かした活力あふれるまち
- ◎地域の特性に応じた機能的なまち
- ◎子どもの豊かな感性を育み、誰もが生きがいを持てるまち
- ◎安全で安心して暮らし、過ごせるまち

## 関係するSDGs



## 現状と課題

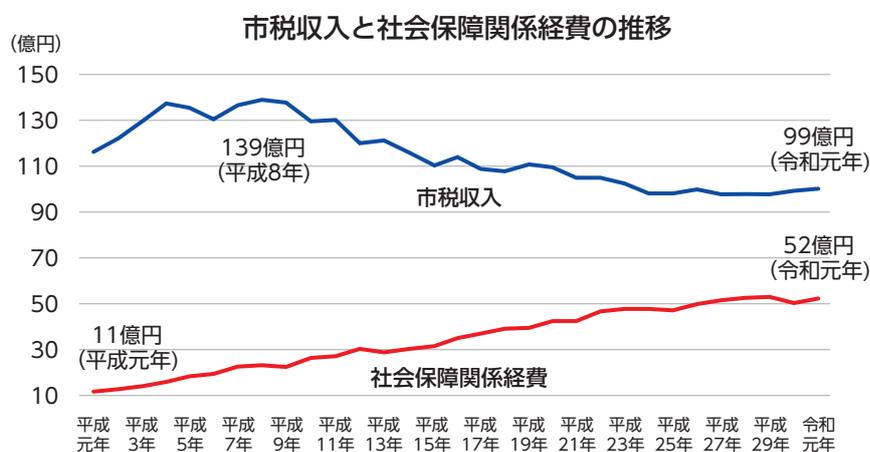
人口減少や少子高齢化の急速な進行など、様々な社会情勢の変化や時代の要請に的確に対応していくために、より効果的な事業選択と効率的な行政運営に取り組む必要があります。新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延による急激な社会情勢の変化や、昨今の気候変動による自然災害など今後も予想だにしない事態が発生した場合でも、行政が迅速かつ柔軟に対応するために、限りある職員数の中で、市民ニーズにスピード感を持って的確に対応できる強靱な組織体制と人材の育成が重要な課題となっています。

観光地において持続可能な行政運営を行っていく上で、本市を訪れる来遊客や別荘等の所有者などの関係人口をさらに増やしていくために、市外に向けた効果的なシティプロモーション(解説P.99)を推進する必要があります。

新型コロナウイルス感染症予防対策として新しい生活様式が求められる中、行政機関に対する各種申請手続きなどを市役所窓口を訪れなくてもオンラインによる電子申請や電子納付ができる仕組みが求められています。

長期的に持続可能な行財政運営を行っていくためには、健全な財政運営の維持とともに、新たな財源の確保を検討していく必要があります。また、公共施設マネジメント(解説P.98)を推進していくためには、将来的な人口規模・財政規模にあった公共施設の選択と集中による適正化を進めていくことが重要です。(仮称)熱海フォーラム(解説P.96)整備事業については、新型コロナウイルスによる社会情勢の変動と新しい生活様式をしっかりと受け止めた中で、将来的な財政見通しを踏まえて再検討する必要があります。

## 関連データ



資料:秘書広報課

## 行政の5年間の主な取組

### 行政が主体的に実施する取組

- 第五次熱海市総合計画及び第2期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略(解説P.96)のPDCAサイクルの確立
- 健全な財政運営の維持
- 新たな財源確保の検討
- 迅速かつ柔軟な行政組織の構築と人材育成
- 広域行政の充実と強化
- 行政運営におけるデジタル化の推進
- 観光と連動した市外広報の発信
- 行政運営に必要な統計情報の整備
- 市税等の収納手段の利便性の向上
- 公共施設の総量削減など公共施設マネジメントを推進
- 市有地の有効的な利活用の推進



## 主な事業

- 第五次熱海市総合計画、第2期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況の管理・検証
- 将来負担・財政リスクを踏まえた予算措置と新たな財源確保の検討
- 横断的な連携が図れる行政組織の整備
- 人材育成ビジョン(解説P.100)に基づく職員研修
- 熱海市定員適正化計画(解説P.96)の策定
- 市民サービスの向上と行政における課題解決に向けた広域連携の推進
- プッシュ型情報発信による戦略的なシティプロモーション活動
- ICT(解説P.93)を活用した情報政策の推進
- 新たな収納手段(電子納付等)の検討
- 電子申請等、オンラインによる行政手続きの推進
- ウェブ会議などデジタル技術を活用した行政運営の推進
- 第2期公共施設アクションプラン(解説P.98)の策定
- 公有財産の利活用スキームの確立

## 指標と目標値

指標	現状値	目指す値	指標の説明
総合計画前期基本計画 進捗率(%)	R 1	R 7	各施策を着実に実施することにより、KPIの達成率100%を目指します。
	—	100	